

実りなき米露首脳会談

国際ジャーナリスト

泉 洋海

米国のトランプ大統領とロシアのブーチン大統領は7月、初の公式首脳会談に臨んだ。ロシアによるウクライナ南部のクリミア半島編入で制裁を課して以降、悪化した両国関係を改善させる狙い。だが、主な議題となつた核軍縮について両首脳は意欲を見せながら、実現に向けた具体的な方策には触れなかつた。さらに、

トランプ大統領は2016年米大統領選に対するロシアの介入疑惑について、否定するブーチン氏に歩調を合わせるなど、米政府の見解を覆すような言動をしたことから批判が高まり、「米露首脳会談は失敗だつた」との声も聞かれる。

不名誉な大統領

米露首脳会談後、両首脳が開いた会見は、米大統領選へのロシア介入疑惑二色となつた。

「ロシアとの共謀はなかつた。（ロシアが選挙に干渉する）理由が分からぬ。ブーチン氏の否定ぶりは力強かつた」。

自らに有利に働いたとされる大統領選へのロシアの関与について問われたトランプ大統領は、会見できつぱりと否定してみせた。

米国は2016年大統領選で、ロシア側が民主党候補だつたヒラリー・クリントン元国務長官に不利な情報を流して、トランプ氏に有利になるよう仕掛けたとの疑惑を巡り捜査を続けている。米国はロシアによる干渉があつたとして7月、12人のロシア情報機関員を起訴したばかりだつた。

会見では、ブーチン大統領も「ロシアは米国の内政に干渉したことには決してないし、今後もそのつもりはない」と全面否定。「米大統領選の最も不名誉な会見だつた」と切り捨



てた。トランプ氏がロシアによる選挙干渉があつたと断定した米政府の認識を覆すかのような発言をし、ロシアに付け込む隙を与えたからだ。野党民主党は言うまでもなく、与党共和党内からも「ロシアに弱みを見せることにつながる」などと批判が強まつた。

さらにトランプ大統領はその後のテレビ局のインタビューなどで、捜査を続いているモラー特別検察官が米露関係を悪化させようとしていると批判。捜査自体を「魔女狩りだ」と強調し、ボルテージを上げた。

米露首脳会談の数時間後、米国のコード国家情報長官は「ロシアによる2016年の大統領選への干渉は一切なかつた」とトランプ氏が断言したことに対し、反対する声明を発表した。

トランプ氏は言い訳するよう



「情報機関には絶大なる信頼を寄せているが、明るい未来のためには過去ばかりに関心を向けてはいられない」とツイート。だが、そのコード氏によると、実際は11月の米中間選挙でも、ロシアがサイバー攻撃を通じた干渉を再び仕掛けてくることが

「危機的な水準まで」高まっているのだという。ロシアによる干渉は決して過去の話ではない。

二転三転

高まる批判を受け、トランプ大統領はホワイトハウスであつた会合で、

「ロシアが2016年の大

統領選に干渉したという情報機関の結論を受け入れて

いる」と発言。直前の会見

での自らの発言は言い間違

いだつたとして一転、ロシア

による干渉があつたとする

見解を受け入れた。その上

で、11月の中間選挙について

「ロシアが干渉しないよう

に全力をあげる」と述べた。

ところが、その直後には

再び記者団の「ロシアは今

も米国を標的としているの

か」との質問に「ノー」と

答えた。米メディアはトランプ氏が米情報機関の見解

に反する発言をしたとして

一斉に報道するなど、ロシ

ア疑惑を巡り米政権は混

迷を深めている。

ちなみに、米露首脳会談後に行われた米クイニピアック大学の世論調査によると、51%の米国人が「ロシア政府はトランプ大統領についての不名誉な情報を持つてると信じている」と答えた。「信じていない」と答えたのは35%だった。

好き嫌いは別として、「トランプ大統領とロシアとの関係は、米国人

に対してもともと弱かつた彼の立場にちょっとした打撃を与えたようだ」と同大の世論調査副部長、ペーター・ブラウン氏は分析する。その結果、ロシアのブーチン大統領との会談を受け、トランプ氏の支持率は

再び40%を下回った」という。同大の調査では、トランプ氏の支持率は38%、不支持率は58%だった。

核軍縮道筋示さず

米大統領選へのロシア疑惑を巡る

発言を振り返ってみただけでも、今

回の米露会談における勝敗はロシアに軍配が上がつたことが分かる。

ただ、ロシアによるクリミア併合

を国際法違反として、ロシアに制裁

を課すようになつて以降緊張が続

いていた米露の関係は多少融和したよ

うだ。

ブーチン大統領は関係改善のとつ

かかりになる核軍縮交渉の再スター

トを持ち掛けた。2021年に期限

切れとなる新戦略兵器削減条約(新

START)の延長や中距離核戦力

(INF)全廃条約の順守などを主

導し、米国の協力を得たい考えだ。

ただ、トランプ大統領は、オバマ前

大統領が地球温暖化に重きを置いた

ことを引き合いにしながら、「核の問

題は最も大事だ」などとブーチン氏

に同調し取り組む姿勢を見せたもの

、具体的な道筋は示さなかつた。

ここへ来て、トランプ大統領は国

内で巻き起こつた「ロシア寄り」「ロ

シアに弱腰」といった批判をかわす

ために、欧州連合(EU)との間で

問題となつてゐる通商問題について、

関税撤廃に向けた交渉に入ること

を決めた。

また、ボルトン米大統領補佐官

も今秋に予定していたトランプ氏と

ブーチン大統領との再会談を来年

以降に延期すると発表した。秋の

中間選挙を見据え、支持率に右往

左往するトランプ氏。闘いはもう始